

●生活・法律相談は

◆市議会議員

高野 とも (7155) 1683

◆市議会議員

いぬい紳一郎 (7159) 2773

◆市議会議員

小田桐たかし (7154) 0878

日本共産党中央委員会 URL <http://www.jcp.or.jp/>

◆市議会議員

安西 孝之 (7148) 6870

◆元市議会議員

若王子博夫 (7159) 0861

◆元市議会議員

せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2006年7月号

第150号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加 4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp<http://www.geocities.jp/kfbkd645/index.htm>

「住民税が6千円から4万円に増えて、もうやっていけません」

くらし破壊ゆるさず 悪政にキツパリ対決

日本共産党



市内商工団体と懇談する日本共産党市議団

議会質問は議員の第1の仕事では？

(全議員の3年間の質問回数)

政党・会派	議員名	質問回数
日本共産党	高野 とも	13
	安西 孝之	13
	小田桐たかし	13
	乾 紳一郎	13
新世会	横須賀 靖	1(前期議長)
	森 亮二	13
	海老原功一	8
	前田 祥三	4
	松野 豊	7
	戸部 源房	7
	青野 直	13
	松本 守郎	3
創成会	中村 好夫	4(後期議長)
	馬場 征興	7
	中川 弘	13
	北村佳代子	10
	赤井 耿一	13
公明党	伊藤 實	1(前期副議長)
	伊原 優	9
	松尾 澄子	7
	関口 和恵	9
	秋間 高義	5(後期副議長)
社民・市民連合	田中 人実	7
	高橋ミツ子	9
	菅沼 樹夫	13
	田中美恵子	13
新志会	日下部信雄	13
	坂巻 忠志	4
	宮田 一成	10
民主党	山崎 専司	5
	藤井 俊行	13
無所属会	根本 守	5

問い合わせ殺到!

市・県民税の納付通知が各家庭に届きました。概算では、総額2億8千万円。1人平均2万円、3倍もの増税です。市役所には市民の苦情や問い合わせが相次ぎ、「船橋市で1日500件の電話殺到」との新聞報道も。国民に「痛み」を押し付けている自民・公明と党の責任は重大です。

高齢者控除等の廃止・縮小で

13000人が増税に

「今まで非課税だったのに、いきなり3万円の住民税なんて払えない」との訴えが寄せられました。政府のすすめる「構造改革」は、増税・医療費負担増と、一層国民を苦しめています。日本共産党は、今年度

国保・介護

生活保護

自治体の役割発揮し

市民のくらし守れど要求

市民のくらし
そっちのけで
巨大開発にまい進

ところが流山市は、市民の福祉やくらしなどについては、国の言うままに悪政に手を貸す一方で、常磐新線(TX)沿線の巨大開発にまい進。莫大な税金をつぎ込み続けています。

開発区域内の公共下水道整備に300億円、進出企業には優遇税制を。開発のために緑を削っておきながら、住宅販売の

改憲手続き法案、共謀罪、
教育基本法改悪

悪政ストップに

国民的連帯と反撃を

日本共産党

第164回通常国会が、広く深く起こる悪法をそろって廃案が閉会されました。なかで、日本共産党が、改憲手続き法案、教育基本法改悪法案などは、それらの運動と結んで、あらゆる分野で噴出した自民党政治のゆきづまりに、対決し、政治の転換を求めて力を尽くしました。



日本共産党は、くらし破壊を許さず、悪政ときつぱり対決しています。

ません。

区域外の既存のまちがすたれては、市民が安心して暮らせるまちになりません。

1500万円
受領問題

日本共産党

徹底究明もとめる

幕引きはかる

一部保守系・社民市民連合

政治倫理特別委員会で参考人質疑。百条委員会設置を否決してつづいた特別委員会。5月に、根本守市議の参考人質疑が行われました。しかし、資金提供を受けた会社等の情報や税金滞納問題は、民対民の関係、個人のプライバシーの問題として回答を拒否。新聞報道以上のことは語られませんでした。6月議会の中間報告に向けて、わが党などが、調査活動の継続を主張する一方、真相究明を妨害し、いち早く幕引きを主張した新世会、新志会、社民・市民連合もこれに同調しました。

くらし・教育・まちづくり 6月議会 願い実現に全力

日本共産党 の4議席

国の「小さな政府」路線、「勝ち組」優遇路線で、深刻な生活苦におちいつている人が急増。自治体はこうした市民を放置しておいていいのでしょうか。日本共産党は、弱肉強食ではなく、だれもが安心して暮らせるまちをめざして、6月議会でもみなさんの願いを市政に届けました。

「人間らしく生きたい」 生活保護制度の充実を

◆◆◆高野とも議員



北九州 市で、生活保護を受けられずに餓死、孤独死が相次いで起こりました。「人間らしく生きたい」という当たり前の願いが、踏みにじられています。

6月議会では、人権侵害を起さないためにも、職員の人権教育と相談室の活用、女性職員の増員などを求めました。

貧困と格差の広がりが社会問題となっている中、「健康で最低限度の生活」（憲法25条）を国民に保障する

問題山積み！介護保険見直しから 2ヶ月。介護・国保の負担も深刻

◆◆◆いぬい紳一郎議員



4月から介護保険の見直しが行われ、新予防給付など、新しい制度も始まりました。

もともと介護保険は、重い利用料負担などのために「必要なサービスを受けられない」という矛盾を抱え

これに対し当局の答弁は、政府の言い分を鵜呑みにするばかり…。実態をつかんでいないことが明らかになりました。

介護保険料や国保料の値上げも制度維持のためには当然と、負担軽減を求める市民の願いを冷たく拒否しています。

暑くて授業に集中できない 教室にエアコン設置を

◆◆◆小田桐たかし議員



『酷暑』といわれる環境で子どもたちが勉強する環境で、暑くて授業に集中できない「死にそう」との声が寄せられています。40人近くの子どもたちが勉強する夏場の普通教室は、40度近くにも

文科省『学校環境衛生基準』（夏期は25～28度が最も望ましい）に反しています。

ところが、本市では、『ガマンも教育』と、何も対策を講じていません。今議会の質問で、市当局はようやく「実態把握に努める」と

新たに持ち上がる TX東京駅延伸問題 いったい誰が費用を負担するのか？

財政負担も含め
市民に問うべき

開通して約1年が経つ常磐新線。推進派は東京駅まで延伸をと大合唱です。6月議会で推進決議を提案しました。

問題は誰が資金を負担するのかというところ。新線は自治体が出資する第3セクターです。新たな鉄道建設には出資に見合った資金提供（約50億円）が求められることに…。しかも、このような大規模公共事業は、情報公開を徹底し、市民の声を集約して方向性を決めるべきです。

「ルートを増やして」 ぐりーんバスの充実を

◆◆◆安西孝之議員



ぐりーんバスがスタートして10ヶ月余。この間、わが党は住民説明会の開催や拡充を求め、対市交渉も行ってきました。

今議会では、「公共施設もまわってほしい」「税金を使って走らせているのに、力を合わせましょう。」



地域と市政とが確かな力

江戸川台小学校の
耐震工事始まる

高野 とも



壊れた公園の照明を
取り替え

いぬい紳一郎



工事中止のマンション、
耐震構造調査を要求

小田桐たかし



向小金地域の
排水対策すすむ

安西 孝之

